昭和医科大学雑誌　第85巻　第5号〔449-452頁，2025〕

第408回　昭和医科大学学士会例会（医学部会主催）

日　　時　2025年5月31日（土）13：00～15：00
場　　所　昭和医科大学4号館　301・302号教室
運営担当　顕微解剖学，臨床薬理学，衛生学公衆衛生学，
　　血液内科学，脳神経内科学，緩和医療科学，
　　整形外科学，小児循環器内科学，救急・災害医学

研究紹介講演

1. 神経変性疾患への薬理学的アプローチ

昭和医科大学医学研究科医科薬理学分野
小口　達敬

高齢化が進行した現代社会において，アルツハイマー型認知症（AD）に代表される神経変性疾患はアンメット・メディカル・ニーズの高い疾患群である．特にADは，進行性の神経細胞死は機能回復を困難にする深刻な課題として認識されている．AD治療において，近年，アミロイドβを標的とするレカネマブやドナネマブといった疾患修飾薬が登場し，早期診断と治療介入の重要性が一層高まっている．これらの新薬により，ADの病態解明において従来のアミロイド仮説のみならず，アミロイド凝集過程により生じる毒性の強い可溶性オリゴマーが重要視され（オリゴマー仮説），臨床的・基礎的研究が世界的に盛んとなってきている．しかしこれらの新規薬剤は医療費や副作用，長期投与といった課題も抱えており，より持続可能で安全性の高い治療戦略の開発も必要とされている．このような背景のもと，既存薬の新たな薬理作用を探索するドラッグリポジショニングや，多様な生理活性を有する天然由来化合物・食品由来成分の神経保護効果や病態修飾機序の解明を目指した研究も新たな治療法開発の観点から注目されている．本講演では，ADを中心に，演者が行ってきた神経変性疾患に対する研究の一部を紹介する．

2. これからの昭和医科大学病院　心臓血管外科のビジョン

昭和医科大学医学研究科心臓血管外科学分野
山口　裕己

2025年4月より歴史ある昭和医科大学外科学講座心臓血管外科学部門を担当することになりました．前任の青木淳教授は低侵襲心臓血管外科治療である経カテーテル的大動脈弁移植術（TAVR）や経カテーテル的大動脈瘤治療（EVARまたはTEVAR）で実績を上げられました．低侵襲手術は患者さんの手術の負担を軽減し早期の回復を目指すという点において非常に重要な戦略です．私が得意とする小切開僧帽弁形成術・大動脈弁手術（小切開心臓手術：MICS）と共にこの分野を今後も継続発展させていきます．これに加え私がこれまで行ってきた治療は，“ワーファリンフリーの心臓弁膜症治療”です．1990年代までの我が国の心臓弁膜症治療は心臓弁を機械弁で置換し術後は抗凝固薬であるワーファリンを生涯服用していただくというものでした．私は1995年から1997年まで米国メーヨークリニック，1999年から2004年までニュージーランド国グリーレーン病院（現在のオークランドシテイ病院）に留学し海外で研究と臨床に携わりました．欧米では機械弁一辺倒ではなく，むしろ手術後のライフスタイルや抗凝固薬に縛られない治療を多く選択していることに衝撃を受けました．2004年に帰国後この経験を活かし，“ワーファリンフリーの心臓弁膜症治療”を開始しました．術後のワーファリンを回避するためには，①自己弁を可能な限り修復し温存する，②生体弁を使用する，③心房細動をメイズ手術で治療する，ことが必要です．これまでこの手術戦

略によって早期成績を改善し，遠隔期の抗凝固療法を回避し脳梗塞や脳出血などの脳合併症を最小限にすることが示してきました．この外科医の手術によって患者さんに根治的かつ長期的なメリットを提供できる手術戦略を今後の昭和医科大学心臓血管外科に根付かせたいと考えています．

一般演題

1. がん患者予後予測バイオマーカーとしての WFDC2 血漿濃度の有用性検討

[1] 昭和医科大学大学院医学研究科医科薬理学分野
[2] 昭和医科大学薬理科学研究センター
[3] 昭和医科大学臨床薬理研究所
[4] 昭和医科大学臨床薬理研究所臨床腫瘍診断学部門
[5] 昭和医科大学大学院医学研究科腫瘍内科学分野
渡 邊　真[1,2,3,4]，角田　卓也[5]
堀 池　篤[5]，　辻　まゆみ[1,2]
小林　真一[3]，　木内　祐二[1,2]
小口　達敬[1,2]，　和 田　聡[1,3,4,5]

【発表内容掲載論文】
投稿中または今後投稿予定

2. 移植腎 CNI 血管毒性の臨床病理学的検討

[1] 昭和医科大学大学院医学研究科顕微解剖学分野
[2] 昭和医科大学藤が丘病院内科系診療センター内科（腎臓）
[3] 昭和医科大学電子顕微鏡室
[4] 昭和医科大学大学院医学研究科消化器外科学分野
[5] 昭和医科大学病院腎移植センター
[6] 昭和医科大学大学院医学研究科腎臓内科学分野
下川　麻由[1,2]，川西　邦夫[1]
康　 徳 東[1]，　河西　恵州[1,2]
髙木　孝士[1,3]，加藤容二郎[4,5]
吉 武　 理[4,5]，小岩　文彦[2,6]
本田　一穂[1]

【発表内容掲載論文】
投稿中または今後投稿予定

3. 心臓サルコイドーシスの形態学的特徴の再評価：日本人 14 例の剖検心による症例検討

[1] 昭和医科大学大学院医学研究科法医学分野
[2] 昭和医科大学藤が丘病院循環器内科
[3] 昭和医科大学医学部臨床病理診断学講座
[4] 昭和医科大学大学院医学研究科臨床病理診断学分野
[5] 昭和医科大学藤が丘病院臨床病理診断科
[6] 昭和医科大学大学院医学研究科循環器内科学分野
曽根　浩元[1,2]，解良　仁美[3]
小川　高史[4,5]，矢持　淑子[4]
鈴 木　 洋[2,6]，松山　高明[1]

【発表内容掲載論文】
Circ Rep. 2025;**7**:654–660.

4. 傾向スコアマッチングを用いた大腸内視鏡的粘膜下層剥離術におけるブリッジ形成法（Bridge formation method）の有用性に関する検討

[1] 昭和医科大学大学院医学研究科消化器内科学分野
[2] 昭和医科大学大学院医学研究科消化器一般外科学分野
[3] 昭和医科大学医学部内科学講座消化器内科学部門
[4] 昭和医科大学大学院医学研究科臨床病理診断学分野
阿部　正洋[1]，工藤　進英[2]
林　 武 雅[1]，神山　勇太[1]
井手雄太郎[3]，澁谷　智也[3]
峯岸　洋介[3]，奥村　大志[3]
桜井　達也[1]，小川　悠史[1]
前田　康晴[1]，一政　克朗[1]
三澤　将史[1]，若村　邦彦[1]
根本　哲生[4]，澤田　成彦[2]
馬場　俊之[1]

【発表内容掲載論文】
JGH Open. 2025;**9**:e70149.

5. 悪性脳腫瘍手術における Image J を用いた 5-アミノレブリン酸陽性所見の輝度解析

昭和医科大学大学院医学研究科脳神経外科学分野
近　貴 志

【発表内容掲載論文】
Acta Neuropathol. 2025;8:64–67.

6. 片側完全唇顎口蓋裂の初回口唇形成術が顎裂幅の変化に与える影響
口腔内スキャナーを用いた光学印象法とアルジネート印象材を用いた従来法の比較

[1] 昭和医科大学大学院医学研究科形成外科学分野
[2] 昭和医科大学口唇口蓋裂センター
[3] 昭和医科大学藤が丘病院形成外科
安　逸 菲[1]，秋月　文子[2]
西 村　怜[3]，岡嶋　梨央[3]
兼 瀬　顕[3]，大久保文雄[1,2]
門松　香一[1,2]

【発表内容掲載論文】
昭和医科大学雑誌．印刷中.

7. 昭和医科大学医学部における新旧カリキュラムの学修成果到達度の比較

[1] 昭和医科大学大学院医学研究科医学教育学分野
[2] 昭和医科大学医学部医学教育学講座
大城　剛志[1,2]，鈴木慎太郎[1]
井上　明音[1]，　香川　直輝[1]
小野向日葵[1]，　三上　貴浩[2]
鷹合　秀輝[1]，　有馬　牧子[1]
緒方　浩顕[1]，　泉　美 貴[1]

【発表内容掲載論文】
BMC Med Educ. 2025;**25**:1139.

8. 終末期医療における「患者の自己決定のための医療行為」の概念

昭和医科大学大学院医学研究科法医学分野
清水　啓介，城　祐一郎

【発表内容掲載論文】
Vestnik of Saint Petersburg University Law. in press.

9. 胸部 X 線画像における COVID-19 肺炎検出のための深層学習ベース
自動検出アルゴリズムの評価

[1] 昭和医科大学大学院医学研究科臨床薬理学分野
[2] 昭和医科大学医学部放射線医学講座放射線治療学部門
[3] 昭和医科大学大学院医学研究科放射線科学分野
[4] 昭和医科大学大学院医学研究科救急・災害医学分野
[5] 昭和医科大学大学院医学研究科呼吸器アレルギー内科学分野
[6] 昭和医科大学医学部放射線医学講座放射線科学部門
[7] 昭和医科大学大学院医学研究科放射線治療学分野
関本　篤人[1,2]，水上　拓也[1]
村上　幸三[3]，　垂水　庸子[4]
田中　明彦[5]，　牧田　真弥[6]
豊福　康介[2]，　伊藤　芳紀[7]
扇谷　芳光[3]，　内田　直樹[1]

【発表内容掲載論文】
Showa Med Univ J. in press.

10. バーチャルスライドを用いた AI 自動診断による大腸 T1 癌のリンパ節転移予測モデルの開発

[1] 昭和医科大学大学院医学研究科消化器内科学分野
[2] 昭和医科大学大学院医学研究科消化器一般外科学分野
[3] 昭和医科大学大学院医学研究科臨床病理診断学分野
髙階　祐輝[1]，工藤　進英[2]
神山　勇太[1]，一政　克朗[1]
林　武雅[1]，若村　邦彦[1]
榎並　延太[2]，澤田　成彦[2]
根本　哲生[3]，馬場　俊之[1]
三澤　将史[1]

【発表内容掲載論文】
Dig Endosc 2023;**35**:902–908.

11. 成人臍炎患者における尿膜管遺残症の疫学的調査と治療方針の検討：日本の保険請求データを用いた解析

[1] 昭和医科大学大学院医学研究科衛生学公衆衛生学分野
[2] 昭和医科大学江東豊洲病院消化器外科
[3] 昭和医科大学大学院医学研究科消化器一般外科学分野
德永　良太[1]，山内　武紀[1]
田　啓樹[1]，面高　俊祐[1]
小城原　傑[2]，磯﨑　正典[3]
保母　貴宏[3]，横山　登[3]
井上　晴洋[3]，小風　暁[1]

【発表内容掲載論文】
投稿中または今後投稿予定

12. 大規模レセプトデータを用いた大腸憩室炎による大腸膀胱瘻の疫学的研究

[1] 昭和医科大学大学院医学研究科衛生学公衆衛生学分野
[2] 昭和医科大学江東豊洲病院消化器センター
[3] 昭和医科大学大学院医学研究科消化器一般外科学分野
面高　俊祐[1,2]，田　啓樹[1]
山内　武紀[1]，德永　良太[1,2]
小城原　傑[2]，磯﨑　正典[3]
保母　貴弘[3]，横山　登[3]
井上　晴弘[3]，小風　暁[1]

【発表内容掲載論文】
投稿中または今後投稿予定